



ひびだより No.12 2014.2.28

軽井沢観光快エネの大雪。ひびの森にもどろりと積もりに雪はいつもの場所を真白な世界に変えていました。

火曜日の真月、久しぶり～おはよう！と真月の乗りの後、さあ遊ぼうと散らばっていく子どもたち。あれれ？ 雪がきつい森の奥の方へ向かっている人がたくさんいます。歩ける？ 歩けるよ！ 大人が行って行くとすると膝上まで「ぶらぶら」と雪に埋れられ道むすびにまよいますが、子どもは「本軍が乗るので沈まずに歩けるからね。たぐんの大くりさんの後を追うどんぐりさん、武蔵「ここは園いから歩ける。」大くりさんの足跡を行くとすぽんと足が埋れるので、締まった雪の場所を避けて沈まず上手に歩きます。「なんぞ足跡がある！」見るとさぎの足跡。ため「うさぎさんモンで遊んだのがこれ。」陽平「足跡をつけておいて。」大くりさんの足跡を外れてうさぎルートで歩く人。吹雪が降りて「靴が脱げちゃった。」という陽平に、ため「この木にたかまて。」武蔵「あとちょっと道にからな。」道路をでて雪を始めている大くりの声を聞きながら一歩一歩進む人。道を行きついたら「あれ？ 道がない。」と気づく。周回道路各は除雪してあるので道路も深い雪の中。「道がないよー」とちよとんをかく陽平。「雪の足跡を歩こう。」と武蔵。ひびの森の方へたどり着くとため「あーやと着いた！」陽平「陽平くんたち、すごい冒険したんだよ。」と非公認の大人たちに見つかりながら笑顔で報告。戻ったところにはいた俊林。行人は、道路の雪を積み上げてあった園い雪の上を歩き回っていて「わんぱう背が高い！」とあちち見下ろしています。子どもたちの「目線が高くなる」というのは今日の豪雪ならではの出来事。いつも見上げていた金太郎は「上れ！ 上れ！」と万葉、いつも登っている木の根元は足がけられるのを発見した行人「あれ？ すぐ登れ！ 俺たちかなり大きくなったじゃねえ？」と宗悟とじんまり。おおきくみは「滑り台がすごい低いよ」と星、悠太。陽平が雪の積もりに滑り台を滑ると突き当たりの雪山に突込んで「大歓声、大くりさん達は雪山を部屋が2つもある家に改造、雪のテーブルありダイニングまで増設。テーブルには雪のデザートが並んでいます。おおきくみは縁台をいよいよ運ぶ理央子と心美。「雪のおいじりのお座敷にするの。」確かにゴロゴロ園い雪はあじりのよ。縁台には三角雪のサンドウィッチや丸いお菓子も火気もろわく、お座敷は大繁盛。一面の白い雪に子どもたちの想像力はどんどん広がります。一応、礼拝堂横の雪り滑りはスノーボードやジャンプがあり、次々新しいコースが出来てまるでひび版冬のオリピックのよう。ちよとんも楽しんで滑る痛くない雪は、みんなの身体をふんわりと受け止めてくれています。

このためにお目にかかれたいつらさの雪の中で、子どもたちはこの冬の命に雪遊びを楽しむ。長い一週間のお休みに経て、たぐん達の皆々のお励みと協力により、ひびを再開する事ができました。本当にありがとうございました。(文中敬称略) : 美和子。

おおきくみ だより ♪

おおきくみさんは、あと少しで小学校に行くんだよ。くりさんは？ 「おおきくみさん！」 松ぼっくりさんは？ 「くりさん！」 どんぐりさんは？ 「松ぼっくりさん！」 なんて楽しいどんぐりさんも入ってくる！ 三学期月に入り、みんなそれぞれ大きくなることを意識しはじめています。そんな中の今回の大雪による休園。子どもたちはまたひびに来ることを首を長くして待っていたことでしょう。休園措置が明けた月曜日のおおきくみは、雪はもうみんな「降りました。」と言わばかりに、スヌーフ、片手に休んだ分を取り戻すかのように朝から大はしゃぎでした。そして「冬の運動会」を行いました。種目は2つ。①リレー ②チーム対抗雪山づくりです。今まで何度もリレーや集団遊びをやる中で「相談があることはよくわかっています。相談にはおおきくみが中心に話を進めています。アーカーは早い人がいい」とか走り順番を話し合いで決めます。これはこれは自熱の単衣でしたが、すごかったのは応援です！ 走っている人ひとりひとりの名前を呼んで応援しています。②チーム対抗雪山づくりは4チームに分かれました。1チームにシャベル大1個、小1個、そり1台が配られる。大人が各チームに1人、金スヌーフで塊を削るお手伝い。ここでも作戦タイムを取りました。やりで雪を運ぶ人、そりに雪を入れる人、山にしていく人、固める人に分かれみんな力を合わせて山をつかっていました。終了の笛がなるとまで一生懸命で汗びっしょりです。雪山づくり、どのチームもがんばっていました。各チームに「賞」がつけました。

- ・富士山で賞(一番高い)
- ・浅間山で賞(どしりとした造り)
- ・離山で賞(軽井沢のおおきくみ)
- ・小浅間山で賞(みんなが登った)

「富士山で賞！」と聞いた時の子どもたちの反応が「？」という感じでしたが、お昼ご飯中や午後のプログラムの中で「おれたち、富士山！ お前は？ 浅間山があ〜」「私たちが浅間山！」など自分たちの雪山に名前がついたことを楽しそうに話していました。雪山作成中、「まかせた！」「まかせたよ！」という言葉が、多く聞かれました。友だちの得意なことを良く知っているからこき出てきます。おおきくみになるとプログラムされたものに取り組みことも増えてきます。子どもたちは「OOちゃんがあじいんだ！。これはOOちゃんにまかせよう。」と友だちを理解しているからこき聞かせる言葉だと思っております。毎日、毎日の友だちとの生活や遊びを積み重ねることが理解しあえる関係をも作りあげていくのでしょ。また「相談」も去年、一昨年とおおきくみたちとの話し合いを積み重ねてきたから「はなしかう」ということが身に付いていいるのでしょ。おおきくみさんの最後のお米料理の相談をしました。おおきくみさんからリクエストに上がった「シート・スパスタ」。デザートは松ぼっくり・くりから「フルー・パイ」を出しました。みんな大好きな果物をたくさん集めたアイスクリームを作りました。今年度も残りわずかです。一日一日を大切に過ごしていきたいと思っております。

: 美穂

— お知らせ —

・来年度 ひびひ 継続の皆さまへ

この ひびひ 評判と いっしょに 生活調査表を同封いたしました。左ページ変更の書換え。右ページ生活や健康についてお書き下さい。

3/7(金)頃までに ひびひ 様として いただきありがとうございます。

・卒園・退園の皆さまへ

健康診断の記録を同封いたしました。ご家庭で納めて下さい。

・3月の えりんご について 4日(火)

メインホールで行われるので 日替りでご配慮下さい。

・ありがとうの会について

今年度 最後の日を 親子一緒に 過ごします。この一年の歩み 育ちを みんなで振り返り いろいろお事の ありがとうを伝え合い 今年度を 大切に 締めくくりにしたいと思います。

日時 3月14日(金) A.M 9:00~9:15 集合
A.M 9:20 開始 お昼頃解散

場所 ひびひの森

持ち物 親子分の お茶と水筒。

・巣立ちの集いについて

新一年生に当たる10人と そのご家族と スタッフの集いです。

いよいよ10人を送り出す時が近づいてきました。仲間と 育ち合ってきた 濃い日々は一人ひとりの 中から しっかりと 出ていって (これから先) 一つひとつを乗り越える力に 育つように 願っています。最後の日 ご家族の方々と 10人の成長を喜び合い 新しい出発を 祝福したいと思います。

日時 3月14日(金) PM 2:00~4:00

場所 バイカル メインホール

お持ち帰り いただきありがとうございます。お持ち帰り品やご家族の お茶もご用意しています。

・来年度 保育場所説明会 日時) 3月5日(水) 13時30分~ メインホールにて

・「大人のTのためのアート時間」 3月6日(木) ひびひの森

・お申し込みが 多いので 再度 お声をかけていきたいと思います。

お好きなお父さん・お母さん 奮ってご参加を お約束いたします。

・A時間は10時~とお知らせしましたが、9時45分~が可能なご参加も可能です。

登園後、ひびひハウスを待合室としてお使いください。

・持ち物の費用などは1月のひびひで済みをご覧ください。

・今回の大雪による休園のため、軽食費一人800円を3月分保育費用から差し引かせていただきます。



ひびひレシピ Note 「干しいも」

- ・ 蒸し器でサリマイモを柔らかくして手で蒸します。この時手で持つと崩れるくらいジック柔らかくしてまで切らずに丸のままよく蒸すのがコツ。
- ・ とても切りにくいのですが、左手に蒸かしたイモを乗せ、1cmくらいの厚さに切り、天日で一週間ほど干して出来上がり。ストーブの火で2~3日で干すことも可能です。
- ・ 半干したと柔らかく美味しいですがカビが生えやすいので、カラカラに干すまで干すと日持ちします。

ひびひの森の小鳥たち (3月エナガ)

雪深い森の中ですが、こんな日々でも確かに日の光が強くなり、小鳥たちのさえずりもずいぶん聞こえるようになりました。その中で「チュリリ♪チュリリ♪チュリリリ」とかわいらしい声で集団でやってくるのはエナガたち。綿ぼうしのようなまん丸の小さな体と、ほんのり村色のおなか。そしてしっぽが長いのが、お前の由来です。エナガは春まで浅い2月末頃から巣づくりをはじめます。たくさん種類の鳥の羽根とコケで作られた巣をはじめた時はとても感動しました。ひびひの森でもエナガの姿がよくみられるようになりました。かわいらしいエナガたちの姿をみて、ほのり。小さな春の訪れを、ぜひ感じてみて下さいね。

